

第 2 回宗像市行財政改革推進委員会議事録

日 時	令和元 1 1 月 8 日（金） 1 4 時～1 6 時	会 場	第 2 委員会室
委 員	■安部 武彦 ■今川 泰志 ■實原 隆志 ■下田 真也 ■常富 公一 ■広田 葉子 □山下 永子 (五十音順、敬称略)		
市	■長谷川経営企画部長 ■中村経営企画課長 (事務局：経営企画課) ■溝口 ■小森 ■恵下		

1 開会あいさつ

2 協議事項

(1) 第 4 次行財政改革大綱（案）について（資料 1）

【事務局】（資料 1）第 4 次行財政改革大綱策定方針（案）に基づき説明。

【委員】 コミュニティが組織され 20 年以上になるが、地区毎に活動に格差があると感じる。まちづくりを支える改革である行財政改革大綱として、コミュニティの再編成、活動を再構築するような視点が含まれていてもいいのではないか。高齢化の問題などは市民だけでは限界がある。地域に任せるだけでなく、専門家やアドバイザーなどを入れたコミュニティ改革が必要な時期に来ていると感じる。

【事務局】 コミュニティのあり方については、重要な問題だと認識しているが、コミュニティのあり方については、マスタープランや総合戦略を進めて行く中でしっかりと議論しながら検討していくものと考えている。行財政改革大綱は、コミュニティ施策だけでなく、その他の各施策も含めて計画に沿った事業を進めることができるよう、財政基盤を安定化させるためのものと位置付けており、コミュニティの課題については、行財政改革の中ではなくコミュニティの個別計画など、別の適切な場で検討させていただく。

【委員】 行政サービスの ICT 化という取組み分類があるが、市役所とコミュニケーションが取れなくなることを心配する。市だけではなく一緒に ICT 化を進める関連組織を立ち上げるなど、しっかりと住民ニーズを捉えて進めていく必要があるのではないか。

【事務局】 おっしゃるとおり。ICT 化については、住民ニーズの把握をしっかりと捉えることが重要であるため、念頭において進めて行きたい。

【委員】 内容として、全体的に暗い印象を受ける。行財政改革大綱なので、そのような色合いが強くなるのは仕方ないと思うが、宗像市自体は魅力あるまちだと思うので、もう少し市の将来に希望があるような見せ方をしてもいいのではないか。

【事務局】 いただいたご意見を踏まえ、将来に渡って魅力あるまちづくりをしていくという見せ方を検討していきたい。また、アクションプランの基本方針でも「行政サービスの効率化と質的向上」という項目を設けており、この中でも行政サービスを向上させていくという視点で前向きなプランとなるよう内容を詰めていきたい。

【委員】本大綱の中に様々な課題が書かれており、その課題に対して財政安定化プラン、アセットマネジメント推進計画、行財政改革大綱の3つを連携させていきながら、総合計画に基づくまちづくりを進めて行くということだと思うが、実際にどれほど厳しい財政状況で、3つの計画のうちどの程度の役割がこの行財政改革大綱に求められているのかが、見えにくい。

前回配布していた、行財政改革大綱とアセットマネジメント推進計画の関係は、並列ではなく大綱の下にアセットがあるという形であったので、大綱の位置づけをもう少しはっきりした方がいいのではないか。

【事務局】前回お示しした行財政改革大綱の位置づけについては、第3次行財政改革大綱の中での位置づけであり、第3次ではアセットマネジメント推進計画を策定したばかりということもあり、行財政改革の1つとして位置づけていた。第4次では公共施設の管理という大きな話を行財政改革の中だけで整理するのは難しいため、並列の関係とし、公共施設管理をアセットマネジメント推進計画で行いながら、行財政改革も行っていくという関係に変更をしている。行財政改革大綱の役割については、もう少し分かりやすいよう書きぶりを検討したい。

【委員】人口推計のグラフについて、説明書きに「総人口が令和2年から減少に転じ」とあるが、平成27年から令和2年まで増加していつているため、「令和2年度をピークに」などの表現に変更した方が適切ではないか。

【事務局】ご指摘のとおり対応する。

【委員】最終的な行財政改革の目標としては、様々な事業を実施するためにまず財政を安定させることだと思うが、所々そのような書きぶりをしている箇所は見受けられるものの、全体を通して見るともう少しはっきりと書いても良いのではという印象を受ける。

また、これは絶対に実施するというものと、少しプライオリティを下げるものなど、計画上には書かなくても良いが、市内部の考えとして整理しておいた方が良いかと思う。

【委員】各委員の意見にもあるように、やはり本大綱の位置づけが分かりにくく感じる。大綱なので、割と大きな視点で、希望を見せる部分や課題など少しメリハリをつけた方が良いのではないか。

【事務局】各委員の意見を踏まえて、書きぶりを修正し、次回お示しする。

(2) 第4次行財政改革アクションプラン(案)について(資料2, 3)

【事務局】(資料2)第4次行財政改革アクションプラン・個別プラン(案)、(資料3)第4次行財政改革アクションプラン・個別プラン一覧(案)に基づき説明。

【委員】「7 文書管理の適正化」のプランについて、保存年限の見直しとあるが、公文書管理法などに抵触しない範囲での見直しだとは思いますが、どれほど見直す余地があるのかお尋ねしたい。保存年限一年未満という分類を設けて、一年未満ということでその日に捨てているなどといった話も聞いているので、そのようなことが起こらないよう注意していただきたい。

【事務局】担当課とヒアリングをする中で新たに追加した項目であり、どれほどの余地があるのかという点は確認がとれていないため、次回までに確認の上、整理しておく。いずれにしても、法の範囲内で見直しをするものと考えている。

【委員】「9 窓口業務の民間委託」のプランについて、民間委託を行った場合に市職員の残業が減り、委託先の残業が発生するというようなことも考えられる。市としては残業に係る人件費が減り、行財政改革としてはそれでいいのかもしれないが、働き方改革としてはそれで良いのかなど、効果をどのように出していくのかお尋ねしたい。

【事務局】現在、第3次行財政改革アクションプランを進める中でも検証を行っており、今回検証を行った会計課の業務においては民間委託をした方が、費用がかかるという結果も出ているため、このプランについては次回に向けて整理していきたいと考えている。お尋ねの効果について、民間委託を行う場合は人件費相当を支払うものとなるため、残業が発生する状況になればその金額も委託料として支払う必要がある。そのあたりも踏まえて民間委託が妥当なのかどうかという点も検討していきたい。

【委員】「戦略的な機構改革と人員配置」について、担当部署は人事課となっているが、機構改革をどのような方法で進めて行くのかお尋ねしたい。

【事務局】人事課が中心となり、経営企画課とも協議をしながら進めて行くことになる。進め方としては、各部署における超過勤務状況や、事業の見直しを行った場合の職員数などに留意しながら進めていくことになる。

【委員】「5 AIやRPA等を活用した事務の効率化と行政サービスの向上」のプランについて、5年で全庁的な導入を目指すと書かれているが、導入することが目的とならないように注意いただきたい。業務の効率化にあたっては、まず業務の見える化をし、業務の平準化、効率化というステップがあり、その手段としてAIやRPAがあるので、そのようなステップを踏んで進めていただきたい。

【事務局】ご指摘いただいた内容を踏まえて進めて行きたい。また、書きぶりについても目的が明確になるよう整理したい。

【委員】「6 ペーパーレス化の推進」について、内容は会議や庁議が中心となるのか。ペーパーレス化はその他の方法でも行う余地があると思うが、そもそもの会議の見直しという項目が別立てであってもいいと考える。

【事務局】会議のあり方については、新たに1つプランとして盛り込むことも含めて検討していく。

【委員】関連部署とあるが、担当課が1つしか書かれていない。全庁的に進めて行くという点を見せるためにも関連部署の書き方は少し検討した方が良い。また、全体的に具体的な内容をもう少し盛り込んだ方がいいのではないかと感じる。今の内容では実際にやることが見えにくいように感じる。

【事務局】まず、関連部署については、第3次のアクションプランでも「関連各課」というような表記のものがあり、責任の所在が不明確でなかなか実行されないというような問題があった。そのため、主で担当する部署については残したいと思うが、ご指摘の全庁的に進めるというものについては書きぶりを検討する。また、各プランの具体的な取組みについては、年次計画の矢印の中で盛り込んでいきたいと思っているが、まだ内容が詰めきれていないものもあるため、次回に向けて具体的な内容が記載できるものは盛り込んでいく。

【委員】「16 オンライン手続きの拡充・利用促進」のプランについて、効果を人件費の削減額で出していくこととなっているが、業務の生産性向上のプランなどと重複するため、いくつかのサービスをオンライン化したなどと数値で管理した方が良いのではないかと。

【事務局】事務負担削減による人件費の削減については、確かに重複するプランはあるため、効果額を出す際は時間外勤務の削減は「1業務の生産性向上の取組み」で算出しつつ、それぞれで効果が出せるものについては、その額を1のプランの効果から引くなどの運用を想定していた。ご意見を踏まえ、数値で管理することも含めて再度検討する。

【委員】「11 一部事務組合及び関連団体・施設への行財政改革の要請」のプランについて、事業費の削減とあるが、事業を実施するのはそれぞれの団体であるため、事業費の削減でなく、市が支出している補助金・負担金の削減を図るとするのが適切ではないかと。

【事務局】ご指摘のとおり修正する。

【委員】「17 ICTを活用した新たなサービスの活用」のプランについて、プラン名に活用が重複しているため、サービスの提供などと文言を修正すべきではないかと。

【事務局】ご指摘のとおり修正する。

【委員】「18 成果連動型事業の推進」のプランについて、実施にあたっては慎重に進めていただきたい。設定する数字はいくらでも変更できるため、民間企業にとっては死活問題となりかねない。

【事務局】ご指摘のとおり対応していきたい。

【委員】「33 小中学校の適正規模・適正配置の推進」のプランについて、行財政改革という点では統廃合や通学区域の見直しなどは必要だと思うが、学校がコミュニティの場であり、避難所であるということも踏まえて、進めていただきたい。例えば、学校の空きスペースを、コミュニティの場として開放しつつ、学校としても利用するなど、実施にあたってはそのような可能性も探りながら進めて欲しい。

【事務局】ご指摘のような可能性も含め、検討していく。

【委員】社会的な背景からもネーミングライツの考え方をどこかに盛り込んでもいいのではないかと。球場の座席に企業の名前がついているように、公共施設全体でなくても部分的に対象とするような視点も含めて検討してはどうか。

【事務局】「広告料の獲得」の1つの取組みとして検証したことがあり、当時の検証結果としては宗像市の規模では難しいとの結論であったが、対象となる施設や媒体も変わってきているため、再度ご意見を踏まえて実施を検討したい。

【委員】プランの全体的な話として、それぞれのプラン同士が関連したものが多く、主管部署も分かれていることから、それぞれが矛盾していないか確認すべきである。

また、各プランを進める際の順番は十分に考えておいた方がよい。あるプランを実施することにより、別のプランを実施する際の作業が楽になる、あるいはそもそも実施する必要がなくなるなどといったことがあるように思う。

【事務局】いただいたご意見を踏まえ、プランの全体を整理する。

3 その他

【事前配布資料】

- ・(資料1) 第4次行財政改革大綱策定方針(案)
- ・(資料2) 第4次行財政改革アクションプラン・個別プラン(案)
- ・(資料3) 第4次行財政改革アクションプラン・個別プラン一覧(案)